

◆地域子ども・子育て支援事業の需要見込み(平成27年度～31年度)

事業名	需要見込み 対象年齢	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
延長保育	0～5歳	1,419 人	1,407 人	1,398 人	1,389 人	1,360 人
学童クラブ	6～8歳(低学年)	1,880 人	1,936 人	1,966 人	1,996 人	2,033 人
	9～11歳(高学年)	1,158 人	1,173 人	1,189 人	1,217 人	1,255 人
ショートステイ	0～5歳	1,753 人日/年	1,739 人日/年	1,728 人日/年	1,715 人日/年	1,679 人日/年
地域子育て支援拠点事業	0～2歳	285,730 人回/年	276,653 人回/年	274,783 人回/年	272,821 人回/年	270,406 人回/年
一時預かり事業(全体)		225,717 人日/年	226,289 人日/年	224,866 人日/年	223,120 人日/年	217,823 人日/年
幼稚園における在園児を対象とした一時預かり	3～5歳	45,057 人日/年	45,898 人日/年	45,608 人日/年	45,292 人日/年	43,810 人日/年
		2号認定で幼稚園の利用希望が強い者の定期的な利用	82,088 人日/年	83,814 人日/年	83,326 人日/年	82,577 人日/年
一時保育、トワイライトステイ ファミリー・サポート事業(特別援助活動除く)	0～5歳	98,572 人日/年	96,577 人日/年	95,932 人日/年	95,251 人日/年	93,870 人日/年
病児・病後児保育事業 ファミリー・サポート事業(特別援助活動)	0～5歳	19,092 人日/年	18,939 人日/年	18,814 人日/年	18,682 人日/年	18,301 人日/年
ファミリー・サポート事業(就学児童のみ)	6～8歳(低学年)	— 人日/年	— 人日/年	— 人日/年	— 人日/年	— 人日/年
	9～11歳(高学年)	— 人日/年	— 人日/年	— 人日/年	— 人日/年	— 人日/年

※ファミリー・サポート事業は、ニーズ調査において利用意向日数が無回答のため需要見込みが算出できない。実績などから算出する予定。

◆ 平成24年度実績との比較

事業名	需要見込み 対象年齢	①H27 見込み		②H24 実績		見込み—実績(①—②)		備考
延長保育(※)	0～5歳	1,419	人	1,231	人	188	人	平成25年4月の実績 ※スポット利用含む
学童クラブ(※)	6～8歳(低学年)	1,880	人	1,280	人	600	人	平成25年4月1日付の登録者数
ショートステイ	0～5歳	1,753	人日/年	123	人日/年	1,630	人日/年	0～15歳の実績
地域子育て支援拠点事業	0～2歳	285,730	人回/年	32,258	人回/年	253,472	人回/年	すこやか福祉センター ひろば事業補助
一時預かり事業(全体)		225,717	人日/年	113,298	人日/年	112,419	人日/年	
幼稚園における在園児を対象とした一時預かり 2号認定で幼稚園の利用希望が 強い者の定期的な利用	3～5歳	127,145	人日/年	102,943	人日/年	24,202	人日/年	預かり保育の補助対象となってい ない2園を除いた実績
一時保育、トワイライトステイ ファミリー・サポート事業(特別援助活動除く)	0～5歳	98,572	人日/年	10,355	人日/年	88,217	人日/年	
病児・病後児保育事業 ファミリー・サポート事業(特別援助活動)	0～5歳	19,092	人日/年	557	人日/年	18,535	人日/年	ファミリー・サポート事業は 6か月～12歳の実績
ファミリー・サポート事業(就学児童のみ)	6～8歳(低学年)	—	人日/年	2,104	人日/年	—	人日/年	
	9～11歳(高学年)	—	人日/年	316	人日/年	—	人日/年	

※延長保育、学童クラブは、平成25年度実績

区立学童クラブの需要見込みと実績比較(低学年)

	24年度実績	25年度実績
定員	1,454 人	1,483 人
登録児童数(4月1日現在)	1,268 人	1,280 人
年間平均登録児童数	1,228 人	
1日平均出席者数	793 人	
4月1日現在の待機児童数	14 人	38 人
待機児童の発生しているクラブ数	5 か所	7 か所

27年度 需要見込み
1,880人

【参考】

学童クラブ入所希望調査	
24年度	25年度
1,314人	1,464人

※翌年度の入所希望について、申請手続き前に調査を行っている。対象は区内幼稚園、保育園に通園している5歳児

(現状)

○特定の学童クラブで待機児童が発生している。

(需要見込み、確保策の検討課題)

○需要見込みは、申請基準を満たしていないケースも含めて捉えているため、実際に利用できる人はこれを下回る可能性がある。

○学童クラブの場合は、区全体としては空きがあっても、他の学区域の学童クラブへは希望しない場合もあるため、地域ごと、クラブごとの現状を踏まえて確保策を検討する必要がある。

○高学年の利用については、今後事業の実施方針も含めて検討する。